

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	福生杉ノ子保育園
施設所在地	福生市志茂47-3
法人名	社会福祉法人志芳福祉会

1. 活動のテーマ

【テーマ】

自然（四季の自然）

【テーマ設定理由】

これまで2年間、音探しをテーマに活動を行う中で、子どもたちは自然の中にある音に耳を傾け「葉っぱがカサカサ鳴った」「雨の音がするね」など身近な自然に興味や関心を持つ姿が多く見られた。活動を重ねる中で、音だけでなく草花や虫、木の実などにも目を向けるようになり、「なんで葉っぱの色が違うの?」「この葉っぱふわふわしている」など、自然物そのものへの気付きや疑問が広がっていった。

そのため、今年度は四季の自然をテーマに設定し、草花や土、水、虫など季節ごとの自然に実際に触れながら活動を行った。見て、触れて、感じる経験を「積み重ねることで、子どもたちの発見や気付きを大切に、自然への親しみや探求を深めていきたいと考えた。

2. 活動スケジュール

- 第一回 押し花づくり
- 第二回 土に触れて遊ぶ
- 第三回 カブトムシの観察
- 第四回 くつつき虫探し
- 第五回 氷遊び
- 第六回 秘密基地づくり
- 第七回 秘密基地づくり（発展活動）

第一回

探究テーマ： 四季の自然（押し花）

ゆり組 5歳児 担任：池谷奈央

子どもの姿	・つくしや桜など春の自然に触れ、保護者や保育士など様々な人にプレゼントすることを喜んでいるが、家に持ち帰るとしおれてしまい残念そうにしている。
「問い」を考える	・どうすればきれいなまま、花を残しておける？
活動をデザインする	・気に入った花を摘み、その後押し花づくりに取り組む。
環境をデザインする	・様々な種類の花が咲く公園を選ぶ。
小グループを構成する	・8人ずつのグループで行う。（押し花づくりは4名ずつ）

環境構成の図	振り返り どのような花が押し花に向いているのか自分で考えながら、一生懸命選んでいた。押し花を配置する際には「本物の花が咲いていた時の形にしたい！」とうまく花びらや葉っぱを組み合わせる様子もあり、草花の仕組みなどにも興味を持っているため、今後の活動に取り入れていきたい。
--------	---


保育者のアクション	A	B	C
<p>・押し花の見本を見せながら適した花の説明を行う。（あまり厚さのないもの）</p> <p>・花の名前などを調べながら伝えていく。</p> <p>・押し花づくりの説明を行う。</p>	<p>・「たんぽぽは大きすぎ？実験してみたい！」</p> <p>・ナズナを見ながら「これはぺちぺち草！」と名前を付ける様子が見られる。</p> <p>・「さくらのお花が欲しいのに、ピラ（花びら）しかない！！食べられてる！！」</p> <p>・配置にこだわりながら花を並べていく。「これはゆうなちゃんの、これはママの分…」</p>	<p>・「紫とか黄色とかいろんな色並べたら絶対かわいくなるよー！」</p> <p>・「めっちゃ紫の花と、ちょっと紫の花、二つも見つけた！形も違う！」</p> <p>・「紫と紫、隣で並べたら混ざっちゃう？」</p>	<p>・「葉っぱじゃダメ？」「BB弾ってつぶして押し花になる？」</p> <p>・噴水を見ながら「この水どこから来てるの？」「地面の下に目に見えない穴が開いてて、そこから出てくるのかなあ??」</p> <p>・茎とはっぱをはさみで切り、花のみにしようと試みている。</p>

第二回

探究テーマ： 四季の自然（土に触れる）

ゆり組 5歳児 担任：池谷奈央

子どもの姿	・戸外遊びを楽しみにし、遊具などがある公園へ行っても生き物探しや砂遊びなど自然の遊びが好きな様子。また、小川に葉っぱや花を浮かべて流したり、「この川はどこから来てるの？下？」と不思議に思う様子もある。
「問い」を考える	・泥ってどんな感触？水を流したらどうなる？
活動をデザインする	・二種類の砂を用意し、感触の違いを楽しめるようにしていく。
環境をデザインする	・黒土 ・荒木田土 ・一定間隔で穴の開いた塩ビパイプ ・シャワーホース ・水分補給用の飲料
小グループを構成する	・泥遊びは集団で行い、その後の振り返りは少人数で行う。一人ひとり感想を聞いたり経験画を描いた。

環境構成の図	振り返り
	<p>・はじめはおそるおそる触れていた子どもたちも、次第に慣れ遊び方もダイナミックになっていったのが印象的だった。海やトンネルを作ったり、スライディングをしてみたりと2時間近くじっくり遊びこみ、楽しんでた。また、日向・日陰のそれぞれの水たまりに寝転び温度の違いなどを感じている様子もあった。</p>

保育者のアクション	A	B	C
<p>・二種類の土の説明を行い、自由に遊べるよう働きかける。</p> <p>・泥の感触など時々感想を聞いてみる。</p>	<p>・海作りたい！！と塩ビ管の近くを掘る。</p> <p>・砂の中から塊を見つけ、流れる水で土を溶かしながら「これは石じゃなかった！」</p> <p>・この穴はカニが入っていきそうな穴じゃない？と話す。</p>	<p>・流れる水の横を掘りながら「こっちで川と待ち合わせしよう！」</p>	<p>・寝転がって…「天気さんが、あったかくしてくれてるんだよ」</p>
	D	E	F
	<p>・泥を触ってみるとどんな感じ？という保育者の問いかけに対し「固くなったり泥のままだったりして、垂れることもある！」</p>	<p>・泥の山にトンネルを掘り、水を流しながら…「お！！きたきた！海が来たよ！」とトンネルがつながった様子を喜ぶ</p>	<p>・なかなかうまく水が流れない様子を見て「ここここ掘れば繋がるんじゃない??」</p>



泥遊び！！

2025.6.30



第三回

探究テーマ： 四季の自然（カブトムシ）

ゆり組 5歳児 担任：池谷奈央

子どもの姿	卵から育てたカブトムシの幼虫をよく観察し、さなぎになるのを楽しみにしている。また、足の本数や顔の形などに疑問を抱く様子が見られる。
「問い」を考える	幼虫と成虫、どんな違いがある？
活動をデザインする	実際に触れた後、どのように感じたか友だち同士で伝えあってみる。
環境をデザインする	少人数でゆったり観察できるよう設定する。また継続して観察していけるよう日々のコーナー遊びの際にカブトムシコーナーを作っていく。
小グループを構成する	

環境構成の図	振り返り 夏の間、自由遊びの際に子どもたち自身で観察できるような環境づくりを心掛けたことで、小さな発見もたくさんあり、カブトムシへの興味を深めることができた。観察画を描いた際、角以上に足を細かく描く子が多く、たくさん触れたことで印象深く感じた部分なのではないかと思った。探究の時間も日々の生活の中に取り入れて行くことで、子どもたち自身の気づきや疑問を増やすいいきっかけになった。
--------	--

保育者のアクション	子どものなまえ	子どものなまえ	子どものなまえ
コーナー遊びの際に幼虫の観察を行えるようなコーナーをつくる。	「なんかよく見たら毛が生えてる！！！」	「おなかのところはつるつるでプールバッグみたい…」	「英語のCみたいになって固まりそう！」
子どもたち自身でさなぎになった様子に気づけるよう、室内の観察しやすい場所にケースを置く。	登園後すぐにケースを確認し、「え！茶色くなってるよ！」と友だちに知らせる。	幼虫の変化に驚きつつ「角みたいなのお見えない？」と発見。	「夜寝ないでさなぎになったの？カブトムシは夜に動くもんね！」
成虫になったカブトムシに触れたりじっくり観察できる環境を作る。	掌に載せ、「ちくちくしてる！」「めっちゃいたい！！！」	「足にとげがついてるから木とか手から落ちないのかな？」	「吸盤っがあるから落ちないんじゃない？…吸盤みたいに丸くないや…」

なんか、英語のCみたい！

カブトムシの幼虫をじっくり観察しながら、色鉛筆で表現！
「なんかよく見たら毛が生えてる！」「触ったらプールバッグみたいな感じ…」と思いつきの感想を話しながら、一生懸命表現していました。



先生！うまれてるー！

夕方の自由遊びの時間、蛹から羽化するのを今か今かと待っていたカブトムシ大好きチームが普段のように様子を見てみると、なんと羽化が終わったメスのカブトムシが！「洋服脱いだみたい！」「羽が茶色いね？」としばらく観察。その一週間後、今度はオスのカブトムシが羽化の途中。「え！！なんで羽白いの？」「ツノから洋服脱いだのかな？」とメスとの違いを考えていました。



手に乗せると…痛い…！



毎朝保育園につくと、「今日もカブトムシ元気？」とうきうき。自由時間の際には虫かごから出して手のひらに乗せたりよく見て観察…。
「手に乗せるとめっちゃ痛い！」「全然離れてくれないよ～！」と話す子どもたち。「なんで木から落ちないのかな？」「足にトゲがついてるからじゃない？」「いや、吸盤があるからくっつくんだよ！」と様々な想像を膨らませていました。



カブちゃんはちょっと茶色っぽい！

よく見ながら観察画。羽が茶色いカブちゃんは、特にみんなのお気に入り、嬉しそうに表現する子どもたち。「カブちゃん、色が難しい～」「黒にちょっとの茶色かな？」とパレットで混色しながら、大好きなカブちゃんを描きあげていました。カブトムシといえばツノ！というイメージでしたが、よく触れている子どもたちには、足が1番印象深いようで、トゲトゲ、ちくちく…と呟きながら細かく表現する子どもが多く、実際に観察したり、触れてみる大切さを感じました。



第四回

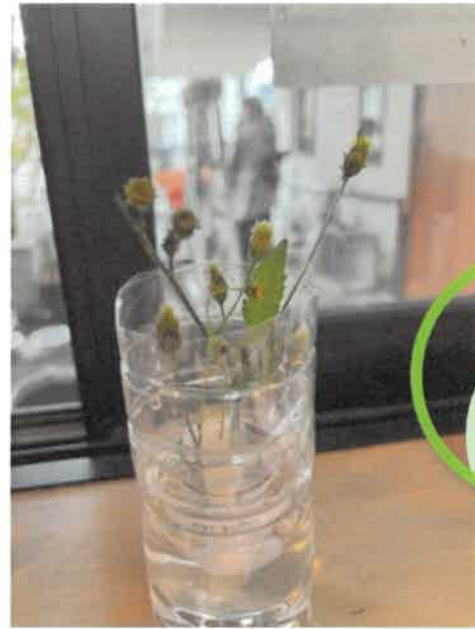
探究テーマ： 四季の自然（くつつき虫）

ゆり組 5歳児 担任：池谷奈央

子どもの姿	散歩の際くつつき虫（センダングサ）探しを楽しみ、友だちとくっつけ合う様子が多くみられる。
「問い」を考える	なんでくつつくのかな？
活動をデザインする	なぜ洋服にくつつくのか、またくつつかない洋服もあるのはなぜか、予想を立てた後じっくり観察を行う。
環境をデザインする	様々な衣服を用意し、実際にくっつけてみる。
小グループを構成する	

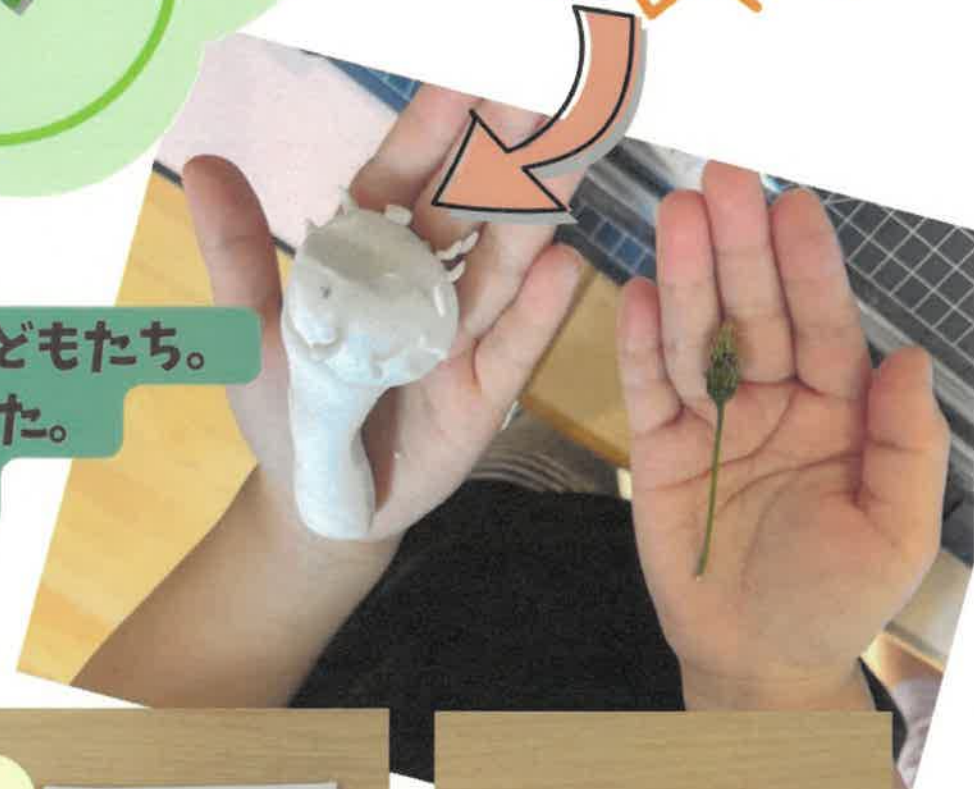
環境構成の図	振り返り 普段の遊びの中から疑問が浮かび、そこについてじっくり考えたり、自分なりの思いを友だちと共有することで、様々な考え方があることを知るいいきっかけになったと思う。また観察画の際には細かい部分まで表現する子が多かったため、今後の活動ではマイクروسコープを取り入れていきたい。また、くつつく部分は花なのか、つぼみなのか、実なのか意見が分かれたため、水の入ったペットボトルに茎の部分をさし、継続して観察していく。
--------	--

保育者のアクション	子どものなまえ	子どものなまえ	子どものなまえ
ロッカー内にあるくつつきそうな洋服、くつつきにくそうな洋服を選んでもらうよう声をかける。	「同じ色の洋服ならくつつくとかじゃない？」	「たしか先生のエプロンにはつかなかったよね…ちょっとつるつるだからかな？」	「半袖と長袖で分けてみる！」
くつつき虫を用意し、実際に付くか試してみるよう働きかける。	「色関係ないっぽい！」「どっちにもつく！」	「洋服にはつくから、ジャンパーも試していい？…やっぱりつるつるのジャンパーにはつかない！」	「どっちもつかない！なんで??」「くつつき虫が弱ってるのかも…」
観察画を書くよう働きかける。	「ちくちくがざらざらしてるし、磁石みたいだからくつつくのかな？」	「洋服につけた時、小さい白い部分が引っかかってくつくんじゃない？」	「ちくちくが柔らかいからくつつくのかも！」



くつつきむしの探求

粘土でくつつきむしを作ってみたよ！！



公園へ行くとくつつき虫（センダングサ）探しを楽しんでいる子どもたち。
今回はどうして洋服にくつつくのが考えてみることにしました。
じっくり観察して色鉛筆を使って描いてみると……？
みんなそれぞれ様々な感じ方があったようです。

ちくちくが柔らかいから
くつつくのがも…



針がくつついてるんだよ！



洋服につけたとき、
小さい白い部分が
引っかかってくつつく！

ちくちくがザラザラしてるし
磁石みたいだから
洋服とか髪にくつつくんじゃない？



第五回

探究テーマ： 四季の自然（氷）

ゆり組 5歳児 担任：池谷奈央

子どもの姿	散歩先で氷を見つけ、かき氷屋さんをしたり、氷と氷をぶつけた際の音を楽しんでいる。
「問い」を考える	氷って何??
活動をデザインする	普段遊びに取り入れている氷を、顕微鏡を使って観察していく。
環境をデザインする	池のある公園へ散歩に出かけ、触れたり遊びに取り入れられるようにしていく。
小グループを構成する	

環境構成の図	振り返り 保育園の水道が凍っている様子を見て、「池も凍っているかも!」と話す子が多かったため、急遽散歩に出かけ探究を行った。日当たりのいい場所と日陰で氷の厚さが違うことに気づいたり、厚さによってわかれた際の音の違いがあることに気づいたりと様々な発見があった。この一年を通して子どもたちの声を聞き活動に取り入れたことで、春夏秋冬の自然の違いや、なぜ季節によって形を変えるものがあるのかなど、疑問や興味をより深めていくことができた。
--------	---

保育者のアクション	子どものなまえ	子どものなまえ	子どものなまえ
氷に触れ、遊びに取り入れられるよう働きかける。	「モザイクみたいな氷がある!」	「石の化石見つけた!恐竜の化石の材料も氷だったのかな?」	
	「遠くから見たら透明でつるつるなのに、触ったらポコポコしてる!」	「影のところはあつたかくないからずっと凍ってるんじゃない?」	「自然のスケートリンクだよ!暗いところは氷が分厚い!」
園に氷を持ち帰り、顕微鏡を使って観察してみる。	「シャボン玉みたいな丸い穴みたいになってる!」	「透明でキラキラだと思ったのに、なんで黒い粒があるの!?!」	「コケまでついてるじゃん!本とは汚いの...?え!なんか動いてるの!!!」



「保育園の水道が凍ってる！！」

登園後の手洗いで、水道につららを発見した子どもたち。
「池も凍ってるかもしれない！」という声があがったので、
中福生公園へ出かけました。



「モザイクみたいな氷があるよ！」

予想通り池が凍っていて、
ボコボコしている氷、つるつるな氷、分厚い氷、とっても薄い氷…
様々な氷を発見し、並べてじっくり見比べている様子が
多くみられました。



「石の化石の材料だ！！」

氷漬けになった石を発見！
「このまま凍ってたら、石の化石が完成するのかな…」
「化石の材料って氷だったのかな！？」と
様々な意見が出てきました。

「自然のスケートリンクだよ！」



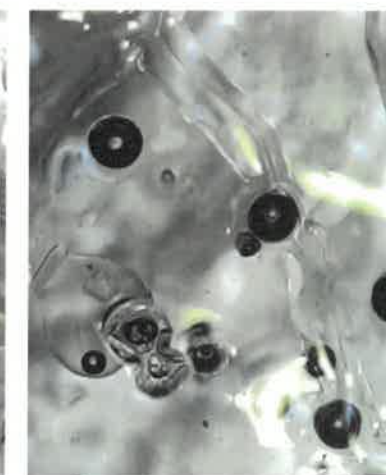
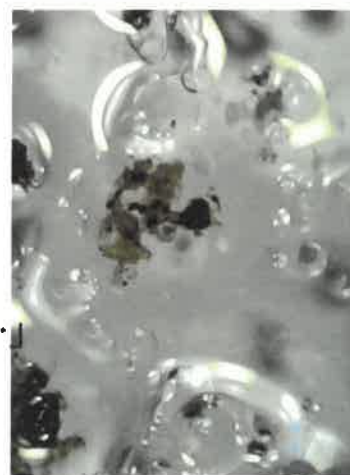
「この暗くて影になってるところは、氷が分厚い！」
「池の地面まで氷だから乗れるんだよ！」
「もしかして、影のところはあったかくないから
ずっと凍ってるんじゃない？」と、
池の隅々まで氷の分厚さを調査している子も。
手に取ったり、実際に乗ってみたい、
割れた時の音を比べてみたい…様々な方法で
氷の暑さを比べていました。



「透明なはずなのに…汚い！」



園に戻り、電子顕微鏡で氷の観察。
「透明でキラキラだと思ったのに、
なんで黒い粒があるの？」
「苔までくっついてる！！！」
「シャボン玉みたいな、泡の場所もあるね」
目には見えないものをじっくり観察できて、
驚きがたくさんあったようです。



第六回

探究テーマ： 四季の自然（秘密基地づくり）

ゆり組 5歳児 担任：池谷奈央

子どもの姿	木登りや枝を使った遊びを楽しんでいる。また、木によって硬さに差がある様子に気づいている子もいる。
「問い」を考える	木を使った遊びはどんなことができる？硬さの違いを利用して遊んでみよう！
活動をデザインする	自然物を使用して遊びを発展していけるよう働きかける。
環境をデザインする	怪我無く自然を使って遊べるよう注意して見守る。また、散歩先を工夫していく。
小グループを構成する	

環境構成の図	振り返り 棕櫚の葉っぱを拾い、髪の毛だと話す子と、きっと違うと話す子がいたため顕微鏡を使って観察した。実際見た目や触り心地ではわからない部分が見られることに驚いていたため、今後も取り入れていきたい。また、しなる木を見つけターザンロープのようにして遊び始めると、周りの友だちも真似をしようとしていたが、硬い木だと折れやすかったり、木の皮が剥げやすいものもあり、なぜ差があるのかさらに興味を深めた様子だった。木と〇〇を組み合わせたら、〇〇になりそう！と想像する子も多かったため、必要な用具を一緒に考えながら遊びを深めていきたい。
--------	---

保育者のアクション	子どものなまえ	子どものなまえ	子どものなまえ
怪我のない範囲で自由に遊べるよう、約束を伝えていく。	「この木硬いけど、ちょっと柔らかくて曲がるよ！」「ターザンロープみたいにゆらゆら遠くまで行けるよ！」 「大人がぶら下がったら多分折れちゃうかも…」	「この木、乾いてるけど太いからなかなか折れない！」「綱引きできるよ！」 「なんか髪の毛落ちてた！！」 「先生の髪の毛と比べてみたい！」→顕微鏡を利用し、比べて見ると「拾った髪の毛には角があるのに、先生の髪の毛には角がない！」	「この形、弓矢に似てる！ゴムがあったら矢を飛ばせるのにな〜」 たくさんの枝を並べながら「上を縛れば丈夫な基地になりそう！」 「髪の毛はつるつる、こっちはカリカリって感じ！」



「誰かの髪の毛落ちてた！！」

三つ編みのように編まれたヒモ？を発見！
「髪の毛だよ！」「葉っぱじゃない？」とみんなそれぞれ自分の考えを相手に伝えていたので、スコープを使って観察してみました。



まずはじっくり観察してみよう！

「なんかツノみたいなのがついてるね」
「先生の髪の毛よりも茶色い！おしゃれな女の人の髪の毛かも…」
「…本当に髪の毛？」と話していました。
実際に髪の毛と比べてみると、「本物の髪の毛にはツノがない！」
「髪の毛はちょっとツルツルって感じ！こっちは乾いてそう、カリカリって感じ？」と様々な発見がありました。



シュロの葉っぱも観察！

「さっきの髪の毛とこの葉っぱ、同じ木から落ちたんだよね！」
「じゃあ、この葉っぱにも小さなツノがあるのかな？」と話していたので、実際に見比べてみることに。
「ツノはなさそう…」「普通にみたら見えないのに、黒い点が写ってる！」
「もしかして、こっそり隠れてる虫!？」とびっくり！
小さな黒い点は何なのか、図鑑で調べてみるそうです。

その後近くを散策して、シュロの木を発見！
木の幹にある毛をみて、「これだ！！！！」と大喜び！
しっかりスコープで見比べて、謎の髪の毛の正体は解明されました。

第七回

探究テーマ： 四季の自然（秘密基地づくり2）

ゆり組 5歳児 担任：池谷奈央

子どもの姿	自然の中で遊ぶうちに木と〇〇を組み合わせたら、〇〇になりそう！など様々な素材を使った際の想像をすることが多い。
「問い」を考える	どんなものを組みあわせるとより楽しく遊べるかな？
活動をデザインする	自然の中で遊び際に使ってみたいものを一緒に考え、用意していく。
環境をデザインする	子どもたちの意欲や興味を受けとめながら、怪我のないよう見守っていく。
小グループを構成する	

環境構成の図 ネット・ブルーシート・ロープ・段ボール・他工具（ちょっとそこまでさんに用意してもらう。）	振り返り 前回様々な用具を使ってみたいという声も多かったため、ロープなどを持って中央公園へ向かった。初めて見る工具もあったためか、最初は自然物よりもそちらに意識が向いてしまっていたため、使い慣れたものの中から必要なものを用意してもよかったと反省する。自然物とロープ・シートなどを組み合わせることで様々な遊具やテントができることに気づく子が多かったため、自然物のみの場合にはどのようなものが代用できるかなど話し合っていたい。
--	--

保育者のアクション	子どものなまえ	子どものなまえ	子どものなまえ
工具の使い方の設営を丁寧に行い、子どもたち自身で考えて取り組めるよう働きかける。	「この前の柔らかい木のターザンロープを伸ばしたい！」 「木とロープを合わせれば最強の遊園地になるよ！」	「大きい木の上にロープをくっつけて、洗濯干す場所を作れば、この公園に住めるよ！」	「ゆり組には子どもだけじゃなくて先生もいるから、大きいテントが作りたいね！」
	「ロープが丸くなっちゃう（撓む）とスピードが出ないから、まっすぐにしたい！」	「なんか骨みつけた！顔が長いから、人間じゃない！何だろう？」	「シートが木にくっつかない…細い葉っぱで縛ってみる？」 →ちぎれてしまった…
	ターザンロープ完成後…「先生にだっこしてもらわないと届かない…階段作ってみよう！」	「切り株をたくさん持ってきたら階段になるかな？大きさが違うやつ…」	



かくれんぼ広場で探求活動！！



ここにロープを引っ掛けたい！

大好きなターザンロープを作るため、
どのようにロープをかけるか
一生懸命考えていた子どもたち。
高い木の股にロープを引っ掛けるために、
木に登ったり棒を使ってかけようとしてたり
と何度もチャレンジしていました。

ロープが緩くならないようにしたい！

一度ロープにぶら下がってみると、
どうしても地面に足がついてしまい、
「なんか…もっとロープ上にしたいな…」と
悩んでいた子どもたち。
「ロープをびーんっと引っ張れはいいんじゃない？
？」と気づき、1人が体重をかけて引っ張ったり、
縛り直してみたりと何度も挑戦！



見て！この丸見えそう！！

ロープを掴んでもなかなか滑れず、
「これじゃターザンロープじゃない…」と残念そう。
どうすればうまくいくのか、使えそうなものを探していると、
ラップの芯のようなものを発見！
スピードも出てスムーズに滑れるようになり大喜び！
「本物のターザンロープみたいだー！」と
楽しんでいました♪



階段を作ろう！！

ターザンロープ用の階段作りがスタート！
「ロープを使ってはしごにする？」「切り株で階段にする？」と
さまざまな意見を出し合いながら
「とりあえずやってみよう！！」とどの方法も試しながら、
みんなが楽しみながらできる方法を探していました。



秘密基地づくりが大盛り上がり！



この木、ロープくらい柔らかい！ ターザンロープができるよ！

先生！この木、固いけどちょっと柔らかくて曲がるよ！
公園のターザンロープみたいにゆらゆら遠くまでいける！
と、ぶら下がったり引っ張ったり、
試行錯誤しながら遊びに取り入れていました。



こっちは綱引きの時のロープに似てる！ 綱引きできちゃうくらい丈夫！！

こっちの木は乾いてるのに、なかなか折れない！
綱引きのロープに似てるから綱引きしよー！！
と、さまざまな木と比べて丈夫な木を見つけた子どもたち。
綱引きしよう！とお友だちに声をかけて対決していました。



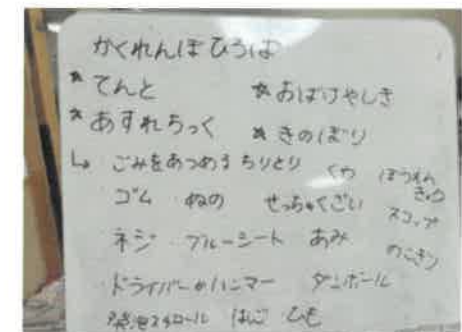
ここを縛れば…

テントの頂上を縛れば、丈夫な基地になりそうじゃない？でも、壁がないから風が入ってきちゃう…
次に来る時は、ロープと布があったらいいんじゃない？と、子どもたち同士でどんなものがよいか、たくさん想像しながら考えていたので、園に戻ってから改めて、必要なものを挙げてもらいました。



弓矢になりそう！

これ、ゴムと組み合わせたら
本物の弓矢になりそうじゃない？と話す子どもたち。
遊びの幅を広げるために、どのような道具が必要か
話し合ってみました！



次回はこの中から必要なものを選び、遊んでいけたらと思います♪

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	福生杉ノ子保育園
施設所在地	福生市志茂47-3
法人名	社会福祉法人志芳福祉会

1. 活動のテーマ

【テーマ】

『音』

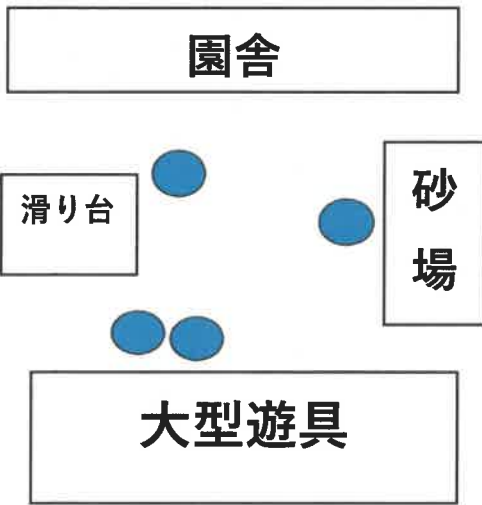
【テーマ設定理由】

部屋の水槽の音や乳児クラスの声、扇風機の音など、身近な環境の音に気付き、保育者に伝えに来る姿が見られた。また、新入園児歓迎会での合奏を聞いたことをきっかけに、音や楽器に興味を持つようになった。様々な音に触れたり、自分で音を出したりしながら、「どんな音がするのだろう」と感じる楽しさを大切にしていきたいと考え、「音」をテーマに設定した。

2. 活動スケジュール

- 第一回 園庭で音探し
- 第二回 廃材で楽器作り
- 第三回 音楽に合わせて身体表現
- 第四回 本物の楽器に触れよう
- 第五回 ピアノの音について（調律）
- 第六回 貴婦人の乗馬を聞いて
- 第七回 演奏会に参加し、音を色で表現する

子どもの姿	部屋の中の水槽の音や2階の乳児クラスの声や扇風機の音を保育者に伝えにくる子がいた。 新入園児歓迎会の合奏を聴き、音や楽器に興味を持っている。
「問い」を考える	室内よりもより音が聞こえそうな園庭でどんな音が聞こえるのかを聞いてみる。
活動をデザインする	一クラスで園庭を広く使える時間を選び、活動に集中できるようにする。
環境をデザインする	いつも遊んでいて慣れている園庭で音探しができるようにする。
小グループを構成する	4, 5人でグループを作り、初回なので10分程度の短時間で活動に集中できるようにする。

<p>環境構成の図</p> 	<p>振り返り</p> <p>園庭だけでも興味を持っていろいろな音を探していた。</p> <p>耳を澄まして聞こえる音を聴くのではなく、自分で音を出しその音を聞こうとする姿が多かった。</p> <p>言葉で表現できない子も音を出して保育者に伝えてくれた。</p> <p>川の音、ドアの音と表現できる子もいたが、「トントン」や「キーキー」「シャキシャキ」など聞こえた音を口にする子もいた。</p>
---	---

保育者のアクション	りま	とあ	さくと
<p>グループごとに園庭に呼び、音探しを始める。</p> <p>遊具で遊んでいて目的を見失っていきそうなときは「どんな音が好き?」「どんな音がする?」などの質問をして活動に集中できるようにする。</p> <p>子どもが発言したときは、目を見て聞くようにし話しやすい雰囲気を作る。</p>	<p>トロッコに水が溜まっていたものを自分で揺らし、「川」と言っていた。</p> <p>滑り台の下に入り、「上に音でる?」と言っていた。</p>	<p>砂場の淵を手でたたいて「ポンポンってする」と言った。</p> <p>友だちに「足でやって」と言われて足で力強く踏んでいた。</p> <p>砂場の遊具で気の柱をたたいて、「コンコンって聞こえる」と言っていた。</p>	<p>言葉にはしないが、砂を足でこすっている。</p> <p>保育者が「どんな音がする?」と問いかけると「なんか音がするな」と言っていた。</p>

5月19日 園庭での音探し

部屋の中の水槽の音や、2階の乳児クラスの声や、扇風機の音を保育者に伝えにくる子がいたり、新入園園児歓迎会の合奏を聴き、音や楽器に興味をもってたりしている姿から、いつも遊んでいて慣れている園庭で音探しをしました。



園庭での音探しをやってみて、園庭だけでも興味をもっているいろいろな音を探していました。

耳を澄まして聞こえる音を聴くのではなく、自分で音を出しその音を聞こうとする姿が多く、言葉で表現できない子も音を出して保育者に伝えてくれました。

川の音、ドアの音と表現する子や、「トントン」「キーキー」「シャキシャキ」など聞こえた音を口にしている子もいました。

子どもの姿	前回の音探しでは、耳を澄まして聞こえる音を聴くのではなく、自分で音を出しその音を聞こうとする姿が多かった。 言葉で表現できない子も音を出して保育者に伝えてくれた。
「問い」を考える	自分たちで音の鳴る楽器を作ってみよう！
活動をデザインする	自分で音が出せる玩具を作ってみる。
環境をデザインする	子どもが自由に考えて使えるような材料を準備する。 静かな環境で取り組めるよう、部屋を分けて行う。
小グループを構成する	1グループ6人で取り組み、前回よりも時間を増やし30分ほど取り組む。

環境構成の図



振り返り
前回の音探しの様子を聞いてから制作に取り組んだ。前回の音探しでは、叩いて音を感じる子が多かったが、今回は玩具を振って音を出す子が多かった。
25分間で進めたが、他のグループの進みが遅れていたので、15分～20分ほどで進めていきたい。
ビーズを使用する子が多かったため、次回はビーズなしでの制作も検討したい。

保育者のアクション	ことえ	ひなた	つむぎ
グループごとに別室へ移動し、楽器作りを始める。 前回の音探しでは、どんな音を見つけたか一人ずつ聞く。子どもの言葉を受け止めながら今回の活動に繋げる。	前回の振り返りでは、玩具を木の遊具に当てたら「コンコン」と音がした。と話していた。 楽器作りでは、ティッシュの空箱にビーズを入れ転がし、「ラーメンの音がする」「麺をパッパってする音」（湯切り）と表現する。	保育者が音が出るものを作ることを話すと「ギターを作ろうかな」と発言する。 材料集めの際は、透明カップとビーズを使い楽器を作ろうとするが、うまく蓋を閉じることができず、透明のパックに容器を変更し作り上げていた。ビーズが転がる音を聞いて「水の音みたい」と表現する。 材料の緩衝材をこすり合わせ「マシュマロの音」とも表現していた。	材料を見ると、黙々と作業を進めていた。卵のパックに緩衝材をテープでつけていた。パックを揺らし緩衝材が当たる音に気が付いていた。どんな音がするのか言葉で表現するのは難しい様子だった。 2つ目の楽器作りにも取り組み、紙コップの底に割りばしで穴をあけ、割りばしが穴にすれる音を楽しんでいた。

子どもの姿	前回の音探しでは、耳を澄まして聞こえる音を聴くのではなく、自分で音を出しその音を聞こうとする姿が多かった。 言葉で表現できない子も音を出して保育者に伝えてくれた。
「問い」を考える	自分たちで音の鳴る楽器を作ってみよう！
活動をデザインする	自分で音が出せる玩具を作ってみる。
環境をデザインする	子どもが自由に考えて使えるような材料を準備する。 静かな環境で取り組めるよう、部屋を分けて行う。
小グループを構成する	1グループ6人で取り組み、前回よりも時間を増やし30分ほど取り組む。

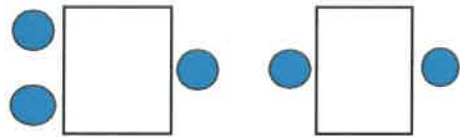
環境構成の図

振り返り

前回の音探しの様子を聞いてから制作に取り組んだ。前回の音探しでは、ビーズを使って音を表現する姿があったので、今回はあえてビーズを使用しなかった。

保育者のアクション	とあ	ももこ	りま
グループごとに別室へ移動し、楽器作りを始める。 前回の音探しでは、どんな音を見つけたか一人ずつ聞く。子どもの言葉を受け止めながら今回の活動に繋げる。	紙コップと紙コップを重ね初めは「タコを作る」と言っていたが作っていくうちに「なんかワニの口の音がする」と言い保育者に見せに来る。 紙コップが二つ重なると音がすると「パカパカ鳴ってる」と言っていた	紙コップの中に切ったストローを沢山入れ、マラカスのようなものを作る。 材料にビーズがないことを知ると自分で工夫して作っていた。 作品が出来上がると「ゆっくり動かすと波の音がする」と言っていた。	作るものを決めずに、様々な廃材を選び色々試していた。 試していく中で、たいてい音を表現することの良さに気が付き、紙コップを使用し太鼓のような玩具を作り上げる。 割りばしのバチにカップの蓋を付け叩き「太鼓」と言っていた。

子どもの姿	前回の音探しでは、耳を澄まして聞こえる音を聴くのではなく、自分で音を出しその音を聞こうとする姿が多かった。 言葉で表現できない子も音を出して保育者に伝えてくれた。
「問い」を考える	室内よりもより音が聞こえそうな園庭でどんな音が聞こえるのかを聞いてみる。
活動をデザインする	自分で音が出せる玩具を作ってみる。
環境をデザインする	子どもが自由に考えて使えるような材料を準備する。 静かな環境で取り組めるよう、部屋を分けて行う。
小グループを構成する	1グループ6人で取り組み、前回よりも時間を増やし30分ほど取り組む。

<p>環境構成の図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 牛乳パック、ラップの芯、ティッシュ </div> 	<p>振り返り</p> <p>前回の音探しの様子を聞いてから制作に取り組んだ。前回の音探しでは、叩いて音を感じる子が多かったが、今回は玩具を拭いたり、指先で弾くなど様々な表現方法が見られた。</p> <p>材料の数を前回よりも減らしたので、材料選びに悩んでいる子がいたが、子どもたちが自ら考えて取り組むことができていた。</p>
--	--

保育者のアクション	うた	はる	せり
<p>グループごとに別室へ移動し、楽器作りを始める。</p> <p>前回の音探しでは、どんな音を見つけたか一人ずつ聞く。子どもの言葉を受け止めながら今回の活動に繋げる。</p>	<p>材料集めでは、不織布の芯と紙コップを選ぶ。</p> <p>紙コップの中に不織布の芯を入れ、芯を紙コップの底に当てずに吹くと「少し音が鳴るの」と言っていた。</p> <p>芯を紙コップの底に当てながら息を吹くと「強くやると音が鳴る」と気が付いていた。</p>	<p>初めは材料選びで迷う姿があった。</p> <p>お友だちの様子を見て真似しながらも自分でティッシュ箱、紙パック、紙コップなどをくっつけ、それを不織布の芯で叩いていた。叩きながら「太鼓だよ」と言っていた。</p>	<p>材料選びに悩み、10分ほど作るものを考える。</p> <p>色々な技法で試し、たどり着いたのが紙コップに輪ゴムをつけてトイレットペーパーの芯とこすり合わせていた。</p> <p>音が出ていることには気が付いているが、音を言語化するのが難しい様子だった。</p>



ワニの口！動かすと
パカパカって鳴ってる
よ！



「あー」って声を出すと、
大きく聞こえる！



輪ゴムでギター
みたいにしたら
音鳴った！



輪ゴムをはじくとハンドルを
回している音！

パーンって鳴る「太鼓」みたい！

さわさわって音

ストローを細かく
切って、紙コップ
に入れた！ゆっく
りやると波の音が
する！



叩いたら「ぽんぽん」
って音がした！



8月29日 リズム遊び

振り返り

初めは、ゲームの楽しさを味わいながら体を動かしていたが、徐々に曲の違いにも気づきはじめた。

曲の速さよりも、曲の雰囲気を感じ取り動く子が多く、低い音でピアノを弾いた時はゆっくり動き、高い音が聞こえた場合には、走って表現していた。曲の雰囲気に合わせて、ジャンプをしたり、動物の真似をする子もいて、表現の仕方が子どもによって様々だったので、その違いにも子どもたちが気づけるようにしたい



第四回目

研究テーマ：音 令和7年10月29日〈本物の楽器に触れよう〉

さくら組 4歳児 担任：小高七海 藤澤綾奈

子どもの姿	お遊戯会が近づき、去年の年中クラスのことを思い出し、自分たちも合奏するの？と楽しみにしている
「問い」を考える	・楽器はどんな音がする？ ・自分の好きな音はどんな音？
活動をデザインする	・少人数で自由に楽器に触れ、どのような音が聞こえたかゆったり話し合う時間を作る。
環境をデザインする	・様々な楽器を並べ、自由に演奏できるように用意する。
小グループを構成する	・4～5名ずつのグループを作る。

環境構成の図

振り返り
楽器を並べているところを見ると「これ知っている！」「前にさくら組さんがやっていたよね！」と想像を広げていた。実際に楽器に触れると、大胆に大きな音で演奏する子や、同じ楽器を何度も演奏する子など自分の好きな音を見つける姿が見られた。「この楽器がきれいな音がするから、いいな！」「なんか雨みたいだから、面白い！」と自分なりに好きな音を見つけられた子もいた。違う楽器の音が重なった時の楽しさに気づいた子もいたので、その言葉から次の活動につなげたい。

保育者のアクション	ゆい	ももこ	りま
ホールに様々な楽器を並べる	「たのしそう」「なにこれ～！！」と興味を示している	「これ前に、お姉ちゃんがやってた！」と楽器を見て思い出している	楽器を並べているときには、あまり興味はなく、友だちと喋ることの方が楽しそうだった
楽器の紹介をして、どのような音がするか聞く	「これなんかきれいなおとがする」 (ウインドチャイム)	「なんか雨の音みたい！」(レインスティック)	先生が楽器を演奏しているのを見て、興味を示し始める。レインスティックをした際には「何かか入っているのかも！おこめとかかな？」と話す
様々な楽器を触ったすきな楽器を演奏して良いことを伝える	様々な楽器を触ったり音を出し、楽しんでい	鉄琴がお気に入りだったようで、繰り返し演奏している。「なんかかわいい！」と話している	木琴の演奏が楽しかったようで、両手で鍵盤をたたいたり、滑らしながら音を鳴らして楽しんでいる
	初めに演奏したウインドチャイムが好きだったようだ。言葉では言わないもののゆっくり演奏したり、早く動かしたりして音の違いを楽しんでいた。		

10月29日 楽器遊び

振り返り

楽器を並べているところを見ると「これ知ってる!」「前にさくら組さんがやっていたよね!」と想像を広げていた。

実際に楽器に触れると、大胆に大きな音で演奏する子や、同じ楽器を何度も演奏する子など自分の好きな音を見つける姿が見られた。

「この楽器がきれいな音がするから、いいな!」「なんか雨みたいだから、面白い!」と自分なりに好きな音を見つけられた子もいた。違う楽器の音が重なった時の楽しさに気づいた子もいたので、その言葉から次の活動につなげたい。



どうやって音をだすの?

ポコポコ♪



いっぱい鳴らそう!



かわいい音!!



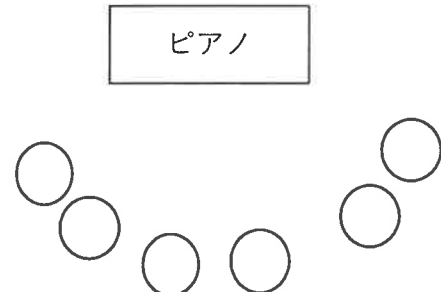
... (静かに音を聞いていました)

こっち(右)とこっち(左)で音が違う!

でっかい音!!



子どもの姿	・お遊戯会の練習を重ねるうちに、保育者の弾くピアノの仕組みについて興味を持ち始めている
「問い」を考える	・ピアノはなんで音がする？
活動をデザインする	・少人数で自由にピアノの音を聴き、どのような音が聞こえたか、どこから音が鳴っていると思うか、どのように音が作られているか話し合う時間を作る。
環境をデザインする	・ピアノの近くで音を聞くことができるように、ピアノのなるべく近くに座る。細かい所を見れるようにする
小グループを構成する	・8~9名ずつのグループを作る。

<p>環境構成の図</p> 	<p>振り返り ピアノに触れ音の出る場所や仕組みなどじっくり考える時間を作った。ピアノの音を聞くと「高い音とか低い音があった！」と音の違いに気づいた様子だった。 「低い音と高い音何がちがうんだろう」と子どもたちの疑問が少しずつでて、最後は『どうして音になるのかな？』という問いになった。 「白いところ（鍵盤）を押したら音が出ているから、下に何かあるんじゃない？」「電池で動いてるんじゃない？」とよく考え自分の意見を話していた。</p>
---	--

保育者のアクション	なつき	るみ	うた
ピアノの弾く「エリーゼのために」	「なんか聞いたことある！！」と興味を示している	ピアノの音が鳴ると友だちと笑いあっている	「なんか踏む？」と弾く前に言っている 弾き終わると「なんか踏んだ！」とペダルに興味をもつ
ピアノの音を聞き、どんな音がするのか、感想を聞く	「とり」とつぶやく	「おばけ」という	
ピアノの音はなんでするのか？ ピアノ音はどこからするのか？ という疑問を持った子の話をうけ、声をかけたり、話を進める	「ここ（鍵盤）を下に押したら音出た」と気づく 『なんで音が出たんだろう？』という保育者からの問いかけに「この下に鈴があつてさ、そこにぶら下がって、その先にまん丸があつてさ、押したら揺れて、キーンって音がする」と考える	『なんで音がでるのかな？』という保育者からの質問に「だって電池あるから」と答える 『なんで電池が入っていると音がするの？』と聞くと「リモコンとかゲームには入っているから」 「ここ（鍵盤の下）に入っている」	『なんで音がするのか？』という質問に「中になにかは入っている」「ロボみたいな…」 『どこに入っているのかな？』 「（ピアノの下の扉をさしながら）ここぜんぶ」「ロボのパーツとかも入っている」 「ここ（鍵盤）がボタンみたいになってる」

11月7日 ピアノの音①

振り返り

ピアノに触れ音の出る場所や仕組みなどじっくり考える時間を作った。ピアノの音を聞くと「高い音とか低い音があった！」と音の違いに気づいた様子だった。

「低い音と高い音何がちがうんだろう」と子どもたちの疑問が少しずつでて、最後は『どうして音がなるのかな?』という問いになった。

「白いところ（鍵盤）を押したら音が出ているから、下に何かあるんじゃない?」「電池で動いてるんじゃない?」とよく考え自分の意見を話していた。



この金のところから音が聞こえる!



ここから音がするのかな?



この中に鈴が入ってて、白いところを押すと、鈴のひもがゆれて音がするんじゃない?



この中にロボが入っているのかな?

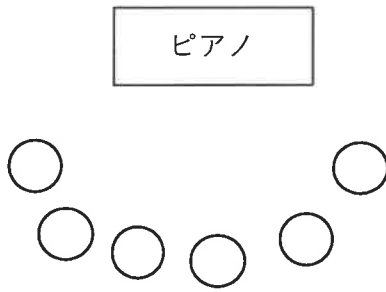
これ（ペダル）なんか気になる...



この楽器の中に電池が入ってるんだと思う!



子どもの姿	・ピアノの仕組みに興味を持ち始めている。
「問い」を考える	・ピアノはどこからどんなふうに音が出ている？
活動をデザインする	・実際に調律師の方から話を聞く ・ピアノの中身がどのようなになっているのか見えるところで演奏する
環境をデザインする	ピアノの周りに椅子を置き、ピアノが見れるようにする
小グループを構成する	・8~9名ずつのグループを作る。

<p>環境構成の図</p> 	<p>振り返り ピアノの中身を見ることができ、より興味の高まる子どもたちだった。 事前に、ピアノの中はどうなっているのかな？と考えていたことで、予想と違ったり、新たな発達が見られたようだった。 ピアノの中の弦を叩くハンマーの部分は羊の毛でできているという事を聞くとふわふわしている毛を想像したのか、触った時に「固い！」という感想をもつ子が多かった。 楽器の鳴り方や音の種類に興味をもち始めたので、次の活動につなげたい。</p>
---	---

保育者のアクション	ことえ	ももこ	たまき
<p>(調律師の話) 鍵盤の叩いているところを差しながらい『この白いところは羊の毛でできています』『触ってみてください(その部分のパーツを子どもたちに手渡す)』</p> <p>ピアノを触って良いことを伝え、少人数で演奏する</p> <p>感想を聞く</p>	<p>説明に興味を示し真剣に聞いている パーツを触った後に「かたくて石みたい」「クッキーみたいな形」</p> <p>たくさんの鍵盤をおし、友だちと笑いあったり一つずつ音を出しながら鍵盤やピアノの中の様子を観察している</p> <p>「白いところをおしたら、動いた」</p>	<p>調律師の白い部分を手に当てているのを見て、そのまねをしたり、友だちのてのひらを叩いたりして笑いあっている</p> <p>鍵盤を一つずつ押したり、指を順番に動かしながら、音の出る様子を楽しんでいる</p> <p>友だちの「動いていた！」という発言を聞き「なにかを叩いてる！」</p>	<p>ピアノのパーツの期の部分に興味を示す触った瞬間に「かた！」と言う</p> <p>ダイナミックに鍵盤を叩く満足するまで弾き終わると、ピアノの中にも興味をしめし、一つの音を何度も弾く</p> <p>発言はないものの友だちの話に興味深そうに聞いている</p>

11月10日 ピアノの音②

振り返り

ピアノの中身を見ることができ、より興味の高まる子どもたちだった。

事前に、ピアノの中はどうなっているのかな？と考えていたことで、予想と違ったり、新たな発達が見られたようだった。

ピアノの中の弦を叩くハンマーの部分は羊の毛でできているという事を聞くとふわふわしている毛を想像したのか、触った時に「固い！」という感想をもつ子が多かった。

楽器の鳴り方や音の種類に興味をもち始めたので、次の活動につなげたい。



押したら動く！



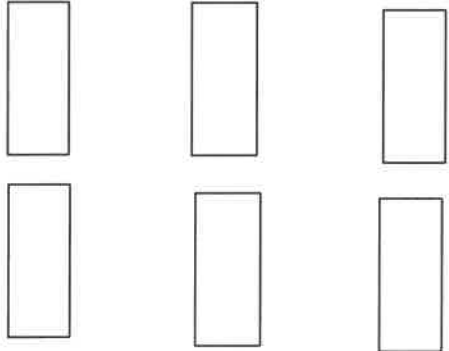
白い所は羊の毛でできているんだよ



かた！石みたい！！

なんか動くな～！

子どもの姿	・本物のピアノにも興味を持ち始めている。
「問い」を考える	・ピアノの中身はどうなっていた？
活動をデザインする	・ピアノの中身を見た直後に、絵に描くことで自分の感じたことを描けるようにする
環境をデザインする	・ピアノのイラストが描かれた紙、白い紙を用意して子どもたちが絵に描きやすいようにする
小グループを構成する	・8~9名ずつのグループを作る。

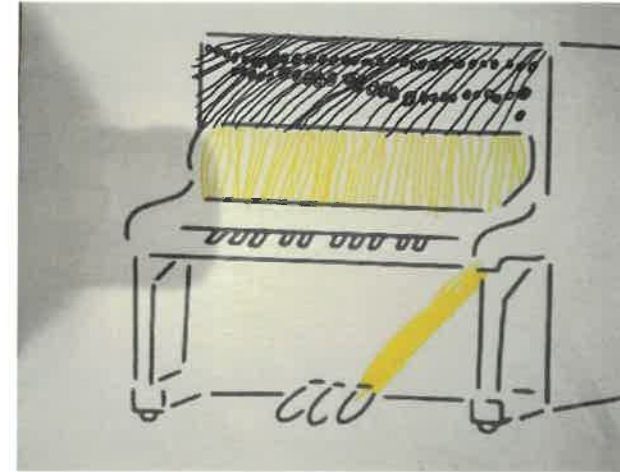
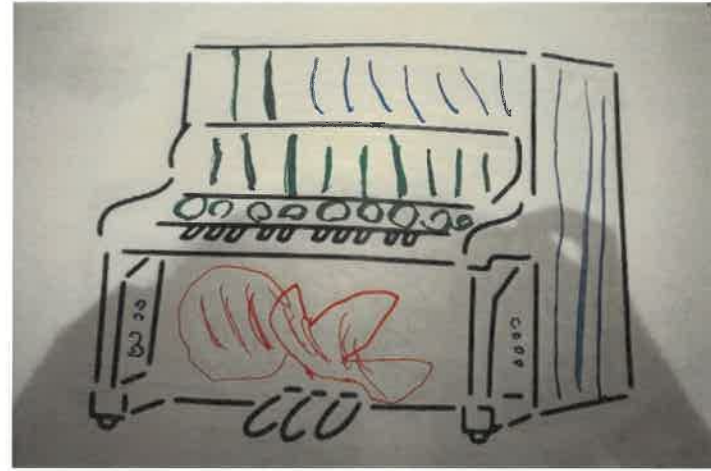
<p>環境構成の図</p> 	<p>振り返り</p> <p>ピアノの中身を見た直後に、絵画活動を行った。ピアノの中がどのようなになっていたのか、言葉では表現できない子も、絵を描くことによって、表現できる子もいた。</p> <p>「弦が右に上がっているように見えた」や「下（鍵盤の下の扉）を開けたところは、真ん中にしか線がなかった」と細かいところまで気づく子もいた。</p> <p>絵画を少人数で紹介し合ったことで、友だちの作品にも触れることができ、友だちの気づきと自分の気づきを照らし合わせる様子も見られた。</p>
---	---

保育者のアクション	よしとか	るみ	りつ
<p>ピアノの中がどうなっていたか、絵に描いてみることを伝える</p> <p>ピアノのイラストが描かれている紙と白紙を用意する</p> <p>描いた絵の紹介を少人数で集まって話し合う</p>	<p>迷わずに白紙を選び、絵を描きはじめる。ピアノの中の弦の線や当たっている部分の絵を描く</p> <p>自分の絵を説明するのは難しそうにしていたが、友達が絵の説明をしているのを真剣に聞いていた</p>	<p>ピアノのイラストのある紙を選び、細かいところまで描く。</p> <p>「電池…」とつぶやく。予想していたことと違ったことを伝えようとしたのかもしれない</p> <p>『これは何？』という質問に「なんかロボみたいだった…」と答える</p>	<p>ピアノのイラストが描いてあるイラストを選ぶ。迷いながらも、ピンクと黒のマーカーを使って線を描く</p> <p>ハンマーが弦を叩いたことを言葉では伝えられないものの、手のひらを指で叩き表現しようとしている。</p> <p>『ここがどうなったの？』と聞くと「動いた!」と答える</p>

11月10日 ピアノの音③

ピアノの中身を見た直後に、絵画活動を行った。ピアノの中がどのようなになっていたのか、言葉では表現できない子も、絵を描くことによって、表現できる子もいた。

「弦が右に上がっているように見えた」や「下（鍵盤の下の扉）を開けたところは、真ん中にしか線がなかった」と細かいところまで気づく子もいた。絵画を少人数で紹介し合ったことで、友だちの作品にも触れることができ、友だちの気づきと自分の気づきを照らし合わせる様子も見られた



ここ（鍵盤）
を押したら動いた！



こうなった！
（手を叩く）



（電池があったと思ったんだけど）
電池がなかった



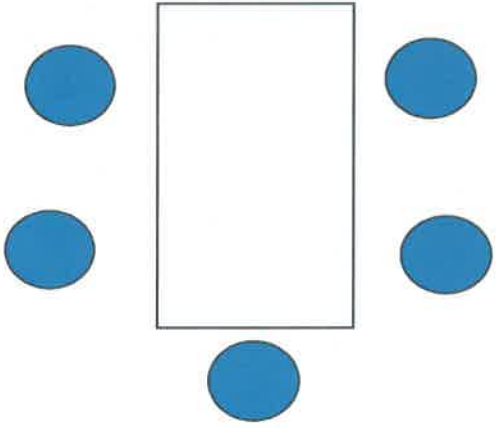
ここに線みたいのが
あった！

第六回目

探究テーマ： 音 令和7年 12月15日 〈貴婦人の乗馬を聞いて〉

さくら組 4歳児 担任：小高七海・藤澤綾奈

子どもの姿	保育者がピアノの演奏する姿を見ると集まり、弾く様子を見ている
「問い」を考える	ピアノの音を聞き、想像を広げてみよう！
活動をデザインする	ピアノの音楽を聴き、自由に絵を描いてみる
環境をデザインする	画用紙・クレヨンを用意して、ピアノの曲を聞き、自由に表現できるようにする
小グループを構成する	少人数でどのような絵にしたのか話し合う場を設ける

<p>環境構成の図</p> 	<p>振り返り 曲に興味を示しているものの、曲のイメージを言葉で表現するのが難しそうな子どもも多かった。 保育者の説明も抽象的な物が多かった為か、子どもたちもイメージを膨らませにくかったようだった。 曲への興味は高まっているので、次の活動では、曲数を減らし、言葉だけでなく色や形で表現する方法も試してみたい。</p>
---	--

保育者のアクション	ひなた	ことえ	つかさ
ピアノの曲を聞いて曲のイメージを聞いてみる	頭を叩いたり、首を振ったりしている 「はやすぎて、頭おかしくなった」 (アラベスク)	「アイスみたいな感じする」 「メロンソーダとか」 「明るい感じ！」 (無邪気)	自分の意見を言葉で言えないものの、友だちの意見を聞いている
「怖い歌・かわいい歌ってどんな歌？」	「怖い曲も高い音」 「かわいい曲も高い音がする」	「怖いのはオオカミみたいな歌」 「タンバリンとか出てきても怖い」 「早い曲もかわいいかも」	
貴婦人の乗馬を聞いて 絵に描いてみる？	「意味わかんない！」 「緑っぽいかな～？ なんでかはわかんない…」	「最初はちょっとゆっくり」 「冒険っぽい感じ」 「色をつけるなら、黒？マンホールみたい…」	「お姉さんがお化粧しているみたい！」

12月15日 貴婦人の乗馬を聞いて

曲に興味を示しているものの、曲のイメージを言葉で表現するのが難しそうな子どもも多かった。

保育者の説明も抽象的な物が多かった為か、子どもたちもイメージを膨らませにくかったようだった。

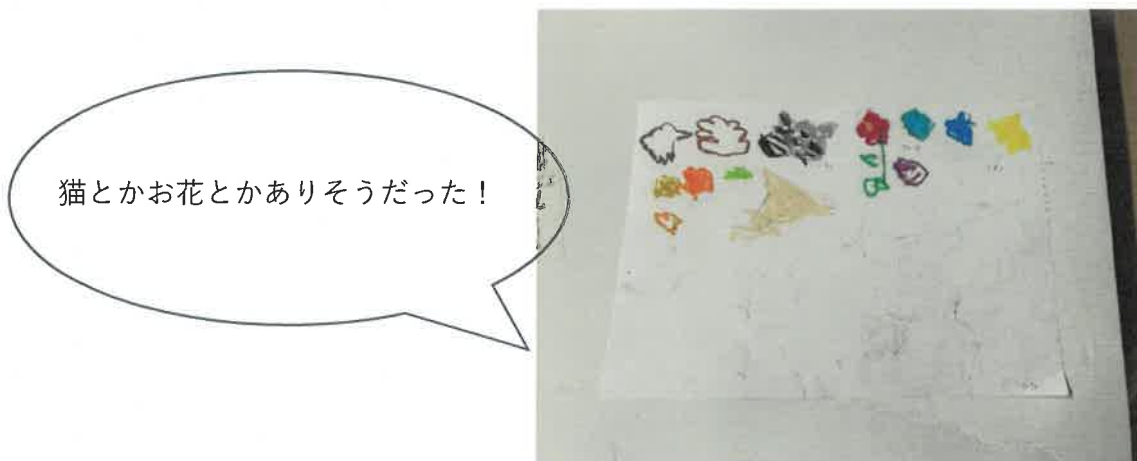
曲への興味は高まっているので、次の活動では、曲数を減らし、言葉だけでなく色や形で表現する方法も試してみたい。



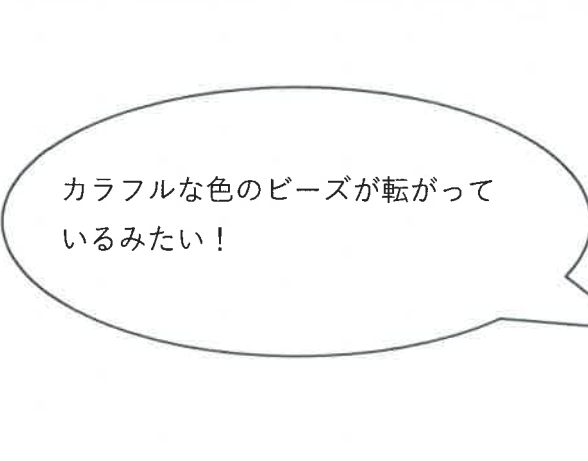
なんかロボットみたい...
手とか足とかついてそう



お姉さんがお化粧してるみたい！
リップとか描いてみた！



猫とかお花とかありそうだった！



カラフルな色のビーズが転がっているみたい！

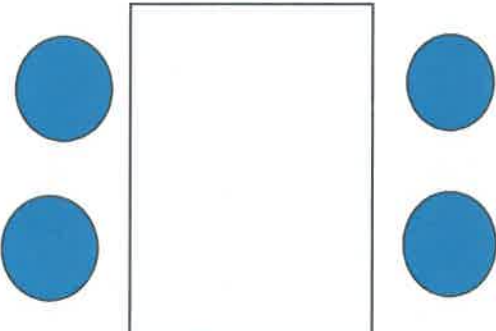


第7回

探究テーマ： 音 令和8年 2月 6日 〈コンサートに参加〉

さくら組 4歳児 担任：小高七海・藤澤綾奈

子どもの姿	音楽や歌への興味が高まり初めて聞く曲でも耳を傾け真剣に聞く姿が見られる
「問い」を考える	どんな楽器があって、どんな音がするかな？
活動をデザインする	プロの演奏家の方の音を間近で聞き、体を揺らしたり、手を叩いたりしながら楽しむ
環境をデザインする	演奏を最前列で聞き、音の迫力や大きさを肌で感じられるようにする 演奏が終わったあと、すぐに絵を描き感じたことを表現する
小グループを構成する	演奏の後に描く絵を少人数ずつ説明し、感じたことを言葉で表現する

<p>環境構成の図</p> 	<p>振り返り</p> <p>コンサートに参加し、大人の演奏する曲を間近で聞くことができ、音の大きさや様々な音色を楽しむ姿が見られた。</p> <p>「いろいろな色があるように、音にもいろいろな色があるんだよ」という演奏方からの説明が残り、絵画活動ではカラフルな色を使って絵を描く子が多かった。虹の絵を描いたり、カラフルな線で楽器の音や楽器を表現する子もいた。</p>
---	--

保育者のアクション	さくと	じゅんぺい	りほ
演奏会時は子どもたちと音楽を楽しむ	演奏を聞き、笑顔になっている	真剣に話を聞いている	楽しい音楽の時には手を叩いたり、体をゆらして楽しんでいる
演奏会を振り返る		「なんか止まるどころがあってかわいかった！」	
描いた絵を子どもたちに説明してもらう	カラフルな色を使い、線や丸を描いている。 「赤はラッパ」 「オレンジはこういう…（口に指を入れてリードを表現している）」 「水色はこう…ふーって！（指を横にしながらフルートのようにする）」	「（人の絵を差しながら）これはフルートをもっているお姉さん」 「（黄色の丸をさしで）これはひよこ。かわいかったから！鳥も飛んでいるみたいだったから、描いた！」 「演奏してくれた曲にキラキラ星があったから月も描いた」 「バナナの歌もあったからこれはバナナ！」	カラフルな色で大きな虹の絵を描いている「楽器の人が虹色って言っていたから〜！」 「かわいかったから、お洋服もカラフルな色にしたよ」 「ハートもかわいかったから描いてみた！」

2月6日 コンサート

「ドゥハ」という演奏家の方々に来園していただき、木棺五重奏の楽器を演奏してもらい、それぞれの楽器の音色を聴いた。
「初めて見た!」「楽しい音がる!」「あそこ(ボタン)を押したら音が出るのかな?」と思いつきの気持ちを口にしていた。
コンサート後は感じたことを絵で表現し、見たものを描く子や聴いた音色を表現していた。



台(譜面台)が置いてあったな~



「金色の笛(フルート)吹いてたよね!



赤はラッパで...
オレンジはこう!(指をくわえてフルートを表現)

合奏の人のグループの名を虹って言ってた!



音が止まってるところが可愛かった!
鳥が飛んでるように聴こえたからひよこ描いた!

子どもの姿	演奏会を終え、音楽に興味を持ったり「楽しかった〜！」と言っている。コンサートの感想画を描いた際には、カラフルな色で絵を描く姿が見られる
「問い」を考える	音楽で塗り絵をしたら、どうなるかな？
活動をデザインする	暗い曲 プロコフィエフ「ロミオとジュリエット」・明るい曲グリーグ作「朝」を聞き、曲のイメージを色で塗ってみる。
環境をデザインする	画用紙に線を2本描き、4つに分ける。分けたそれぞれの場所に音楽を聞き想像した色を選んで塗ってみる。
小グループを構成する	少人数で活動を振り返ったり、説明しあい、出来上がった作品を合わせてクラスのイメージを共有する

環境構成の図	振り返り 「朝」を初めて聞いた際には『なんか眠い感じがする』『かわいい感じ!』と感想を言い合っていた。使った色は明るい色が多く、子どもたちも”草”や”風”のイメージをもち黄緑や水色を使い、色を塗っていた。「ロミオとジュリエット」を聞いた際には『おばけみたい』『ゾウが歩いているみたい…』『プリキュアが戦っているみたい』と曲のイメージを捉えていた。グレーや黒を使い暗い色を表現していた。また明るい色でも怖いイメージをもって塗る子もいた
--------	---

保育者のアクション	じゅんぺい	とあ	さくらこ
先週の金曜日のコンサートのことを振り返り、子どもたちの描いた絵を紹介する	初めはあまりコンサートのことを覚えていない様子だったが、話を聞くうちに思い出し、曲について振り返っている	曲を聞くうちに少しずつコンサートのことを思い出している	保育者の話にあまり興味のない様子だったが、曲が流れたり、映像には興味をもっている
曲のイメージを色で塗って見ることを伝え保育者も全体の前でやってみる	保育者の色を見て「じゅんぺいもそう思う!!」	保育者の描く様子をじっくり見ている	「(灰色を差し)これは怖い暗闇の中」 「(ピンクを差し)これは怖いピンク男」 「(水色・黄色を差し)これは水色おとこと黄色おとこ」 (プロコフィエフ作ロミオとジュリエット)を聞いて
曲を聞き、色を塗ってみる	「プリキュアと敵が戦っているみたいだった」 (プロコフィエフ作ロミオとジュリエット)を聞いて 「静かで泣いちゃう…それは紫かな」 (グリーグ作 朝)を聞いて	「ゾウさんみたいだったから灰色にした!」 (プロコフィエフ作ロミオとジュリエット)を聞いて 「静かなおとは白」 (グリーグ作 朝)を聞いて	「海みたいだったから、青塗った」 「キラキラしてたから黄色」 (グリーグ作 朝)を聞いて

2月9日 音のぬりえ

「朝」を初めて聞いた際には『なんか眠い感じがする』『かわいい感じ!』と感想を言い合っていた。使った色は明るい色が多く、子どもたちも”草”や”風”のイメージをもち黄緑や水色を使い、色を塗る子もいた。

「ロミオとジュリエット」を聞いた際には『おばけみたい』『ゾウが歩いているみたい...』『プリキュアが戦っているみたい』と曲のイメージを捉えていた。や黒を使い暗い色を表現していた



この茶色は何かの動物
みたいだったから...
お馬さんかな...?

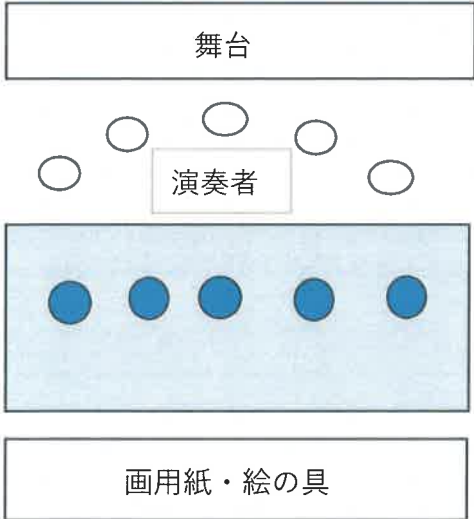


プリキュアが
敵とたたっているみたい
だった

ゾウが歩いているみたい
だったから
この色にした!



子どもの姿	曲のイメージを色で表現し、その作品をクラスで見合ったことで友だちの想像したことに対して、友だちの考えに共感したり、刺激を受けている
「問い」を考える	音楽を絵の具で表現してみよう！
活動をデザインする	生の音楽を聴き、音の大きさや、音のイメージを線や色で表現できるようにする
環境をデザインする	ホールの広々とした場所で行い、より自由に表現できるようにする
小グループを構成する	1グループ5人程度で行い、自分の作品作りに集中して取り組めるようにする

<p>環境構成の図</p>  <p>舞台</p> <p>演奏者</p> <p>画用紙・絵の具</p>	<p>振り返り</p> <p>保育者の問いかけの方法や、音の注目のさせ方が変わったため。グループごとに活動の内容が大きく変わり、子どもたちからの意見も差があった。</p> <p>音を集中して聞けるようにするために、音を聞く前に音の想像をさせたり、音の感想を言い合ったことで、音への探究が深まったように感じた。</p> <p>次の活動では、友だちの意見に興味を持ったり、耳を傾けられるようにしたい。</p>
---	--

保育者のアクション	たまき	せり	うた
楽器1つ1つの音を想像してから、音を聞き、実際に聞いた時との違いを話し合う	(フルートの音を聞き) ふーふーって音 (オーボエの音を聞き) つーつーっておと (ホルン) でかでか (クラリネット) ふーふー	(フルートを聞いて) なんか優しい音がしそう！ (オーボエを聞いて) なんかカッコイイ音 ホルンは大きい音がする	(フルートを見て) リコーダーみたいな音がしそう (フルートを選び) 黄色！楽器が金色だから、金の音だけど色は黄色
自分の好きな音を選び、その音がどんな色なのか想像する	同じふーふーだけど、オーボエの方がなんか細い感じがした	(フルートの音は) 薄ピンクかな かわいい音がするから	太陽に楽器が刺さっているみたいだった
「その色を使って他のお友だちにも伝えよう！」と伝える	(フルートを選んだ) 黄色！！ 楽器が金色だから		(演奏を聞くときにクルクルと回っていて) こうやってやると全部の音が聞こえるんだよ！
友だちの作品をみて、どのように思っているのか聞きあえるようにする	大きい音もあったし、小さい音もあった！から、絵も大きく描いたり小さく描いたりしてみた！	丸が踊っているみたいだった！(ピンクの絵の具で丸い模様を描く)	

2月13日 音を絵の具で表現しよう！

振り返り

保育者の問いかけの方法や、音の注目のさせ方が変わったため。グループごとに活動の内容が大きく変わり、子どもたちからの意見も差があった。

音を集中して聞けるようにするために、音を聞く前に音の想像をさせたり、音の感想を言い合ったことで、音への探究が深まったように感じた。

次の活動では、友だちの意見に興味を持ったり、耳を傾けられるようにしたい。

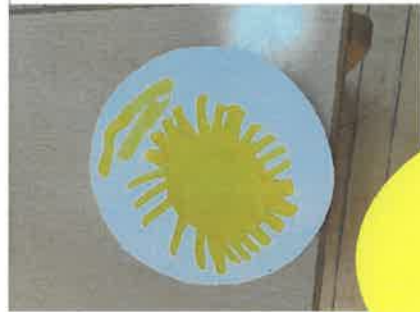


(フルートを聞いて)
ふーふーって音！
(オーボエを聞いて)
つーつーって音がする！



大きな音だったから
大きく描いたよ！

かわいい感じだったから
ピンクにした！



太陽に楽器（フルート）
が刺さってる感じ



大きい音と細かい音があった！
キラキラしている感じが
したから黄色



丸いビーズが
踊っているみたいだった



人魚がお引越している感じ
屋根が壊れて、
お水が垂れてきているみたい！



海みたいだった
(上に描いたのをさして)
これは青空

お水が跳ねているみただった
海みたいだったから青にしたよ！

